情報コミュニケーション研究科

２０２７年度
大学院学生募集要項

博士前期課程　入学試験

一　般　入　学　試　験

外 国 人 留 学 生 入 学 試 験

社 会 人 特 別 入 学 試 験

３年早期卒業予定者入学試験

博士後期課程　入学試験

一　般　入　学　試　験

外 国 人 留 学 生 入 学 試 験

明　治　大　学

目　次

【人材養成その他教育研究上の目的】 ……1
【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】 ……1
【教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】……2
【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】 ……2
１．入学試験日程一覧……3
２．入学試験……4
博士前期課程……4
（１）一般入学試験……5
（２）外国人留学生入学試験……6
（３）社会人特別入学試験……7
（４）3 年早期卒業予定者入学試験……8
博士後期課程……9
（１）一般入学試験……10
（２）外国人留学生入学試験……11
３．出願書類一覧……12
４．出願手続……14
（１）出願方法……14
（２）出願書類の記入方法……14
A 票の記入方法……19
（３）入学検定料の納入……25
（４）受験及び修学における配慮について……26
５．受験票……26
６．入学試験当日の注意……26
７．学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項……27
８．合格発表……27
９．入学手続……28
（１）入学手続書類の送付及び入学手続期限について……28
（２）入学手続について……28
（３）保証人について……28
10．問い合わせ先……29
11．授業時間帯について……29
12．大学院奨学金制度について……30
13．ビザ（査証）について……31
（１）受験ビザ取得について……31
（２）留学ビザ取得について……31
14．入学諸費用等について……32

出願及び入学手続にあたって提出していただいた個人情報は、「学校法人明治大学個人情報保護方針」及び「個人情報の保護に関する規程」に基づき、入学試験、合格発表、入学手続及びこれらに付随する業務を行うために利用します。これらの業務の一部を、明治大学が指定した業者に委託します。業務委託にあたり、同業者に対して、提出していただいた個人情報を提供することがあります。また、個人が特定されないように統計処理した情報を、明治大学における入学者選抜及び教育改善のための調査に利用します。あらかじめご了承ください。

明治大学では、入学手続時の学籍処理ならびに入学後の統計処理等における必要性から、性別情報の取得は必要最小限に留め、限られた範囲で慎重に取り扱います。

出願書類に関して偽造・虚偽記載・剽窃等の不正が認められた場合は、その時点で本学への出願資格を取り消します。また、当該年度における本学のすべての入学試験の受験を認めません。すでに合格した本学の当該年度入学試験がある場合は合格を取り消し、入学していた場合は入学を取り消します。なお、この取り扱いに伴う入学検定料、学費等の返還は一切行いません。不正行為が認められた場合、警察等の公的機関に、被害届を提出する等の対応を取る場合があります。

【人材養成その他教育研究上の目的】

【情報コミュニケーション研究科】

高度情報社会の進展に伴い社会や社会が抱える問題は複雑化の一途をたどっているにもかかわらず、アカデミズムは、それに対する十分に有効な処方箋を提示するには至っていない。情報コミュニケーション研究科では、各分野の専門家が問題意識や提案を持ち寄り、「情報コミュニケーション」という視座から、複雑化した高度情報社会を様々な角度から検討した後に再び自己の専門領域にフィードバックできる「場」を創設することを目的とする。すなわち、教育の面においても研究の面においても「パラダイム転換型」又は「パラダイム創出型」の研究科となることを目指す。

【情報コミュニケーション学専攻】

高度情報社会の諸課題に取り組むために、情報コミュニケーション学専攻では、既存の専門研究によっては全体像がとらえきれなかった 21 世紀の諸問題を、学際的・領域横断的に把握･定式化し、有効な学問的・政策的ポートフォリオを自ら案出できる確固たる判断基準を持った研究者や実務家の養成・輩出を目指す。そのために、専門的なディシプリンの修得と並行して、早い段階から学生を研究プロジェクトに参画させて具体的な問題への学際的アプローチを実践させる。博士前期課程では、そうした学際的・領域横断的な視野と高度な専門的知識を有する人材を養成し、研究者に限らず社会に活躍しうる社会人の養成も目指す。博士後期課程では、それぞれの研究分野の更なる深化を図りつつ、学際的・領域横断的な視野をもって自らの専門分野で活躍できる研究者を養成する。

【入学者受入方針（アドミッション・ポリシー）】

【博士前期課程】

情報コミュニケーション研究科博士前期課程は、既存の専門研究によっては全体像が捉えきれなかった 21 世紀の諸問題を、学際的・複数領域横断的に把握・定式化し、有効な学問的・政策的ポートフォリオを自ら案出できる判断基準を有する実務家の育成を目指し、また研究者育成の基礎となるこれらの方法論と知識の獲得をはかります。このため、本研究科では主に次のような資質や意欲を持つ学生を積極的に受け入れます。

（1） 学部で学んだ情報コミュニケーション学をより高度に発展・展開したいと希望する者。
（2） 自分の問題意識との関係で、従来の学問体系を踏まえて、さらに学際性を修得したいと考えている者。
（3） すでに公務員として行政に携わっている者、ＮＧＯ・ＮＰＯ、民間企業等の各種団体に属する者をはじめとする社会人で、自己の職業上の体験から、問題の本質を見極めたい、あるいは少しでも実際に生かし役立てることのできる解決法を探りたいと希望し、当研究科を修了した後にその成果を再び自己の職業に生かしたいと考えている者。

以上の求める学生像に基づき、学内選考入学試験、一般入学試験、外国人留学生入学試験、社会人特別入学試験、３年早期卒業予定者入学試験を実施し、入学者選抜を行ないます。

なお、修得しておくべき知識等の内容・水準は以下のとおり求めます。

（1） 人文・社会分野や自然科学における研究活動に必要な基礎的な知識。
（2） 学際的な分野に取り組める柔軟な思考力及び広い視野。

【博士後期課程】

情報コミュニケーション研究科博士後期課程は、既存の専門研究によっては全体像が捉えきれなかった 21 世紀の諸問題を、学際的・複数領域横断的に把握・定式化し、有効な学問的・政策的ポートフォリオを自ら案出できる確固たる判断基準をもった研究者や実務家の育成を目指しています。このため、本研究科では主に次のような資質や意欲を持つ学生を積極的に受け入れます。

（1） 21 世紀の諸問題に関心を持ち、学際的・領域横断的に把握・定式化する意欲があり、有効な学問的・政策的ポートフォリオを自ら案出できる技能を有すると認められる者。
（2） 「情報コミュニケーション」という視座を理解し、複雑化した高度情報社会への処方箋や問題意識を研究科の

「場」に持ち寄って、スタッフや他の学生とともに、パラダイムの転換や創出に果敢に挑戦しようとする気概にあふれ、協調したコミュニケーションが実践できる者。

以上の求める学生像に基づき、一般入学試験、外国人留学生入学試験を実施し、入学者選抜を行ないます。

なお、修得しておくべき知識等の内容・水準は以下のとおり求めます。

（1） 博士前期課程の教育・研究を通して、博士後期課程での研究活動を行なえる十分な研究能力及び応用的な知識。

（2） 博士論文執筆に向けて必要となる理論的及び実証的な分析力。

【教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）】

【博士前期課程】

情報コミュニケーション研究科博士前期課程の教育理念・目標である、新しい学際性・学域横断性に基づいた教育研究を実現するために、以下に示す方針に基づきカリキュラムを編成しています。

（1） 本研究科が目指す学際性は、社会科学・人文科学の融合を基盤とした上で、自然科学との協働を構築し得る教育・研究環境によって保証されます。このため本研究科で設けられる講義科目群は、社会、文化、人間の３つの伝統的研究領域をもとに、情報、メディア、コミュニケーションの３つの専門領域にわたり横断的に配置され、先進的な学際空間が形成されています。

（2） 知識を応用し総合的に問題解決や政策立案ができる能力を育てるための、基礎的なリテラシーやスキル、特定の研究分野で要求される技能の習得や資格の取得を支援するための研究サポート・プログラムを設置します。

以上の教育プログラムを通して、大学院生に専門的な知識を教授し、また、指導教員と副指導教員の連携による指導を行ないます。

【博士後期課程】

情報コミュニケーション研究科博士後期課程では、本研究科博士前期課程の教育理念・目的に加え、「先端研究」「ネットワーク化」の２点を重点課題とし、「学際」研究を具体化するために、以下に示す方針に基づきカリキュラムを編成しています。

（1） 本研究科が目指す学際性は、社会科学・人文科学の融合を基盤とした上で、自然科学との協働を構築し得る教育・研究環境によって保証されます。このため本研究科で設けられる講義科目群は、社会、文化、人間の３つの伝統的研究領域をもとに、情報、メディア、コミュニケーションの３つの専門領域にわたり横断的に配置され、先進的な学際空間が形成されています。

（2） 研究者として自立するために必要な基礎的なリテラシーやスキル、特定の研究分野で要求される技能の習得や資格の取得を支援するための研究サポート・プログラムを設置します。

【学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）】

【博士前期課程】

情報コミュニケーション研究科博士前期課程は、21 世紀の諸問題を、学際的・複数領域横断的に問題解決できる研究者や実務家を輩出することを目指しています。この人材養成目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに学位論文から、以下に示す資質や能力を備えたと認められる者に対し修士（情報コミュニケーション学）の学位を授与します。

（1） 既存の専門研究によっては全体像が捉えきれなかった 21 世紀の諸問題を、学際的・複数領域横断的に把握・定式化し、有効な学問的・政策的ポートフォリオを自ら案出できる確固たる判断基準をもつことのできる資質や能力。

（2） 高度に専門的な業務に従事するに必要な研究能力及びその基礎となる学識。

【博士後期課程】

情報コミュニケーション研究科博士後期課程は、21 世紀の諸問題を、学際的・複数領域横断的に問題解決できる研究者や実務家を輩出することを目指しています。この人材養成目的を踏まえ、本研究科の定める修了要件を満たし、かつ、学業成績ならびに学位論文から、以下に示す資質や能力を備えたと認められる者に対し博士（情報コミュニケーション学）の学位を授与します。

既存の専門研究によっては全体像が捉えきれなかった 21 世紀の諸問題を、学際的・複数領域横断的に把握・定式化し、有効な学問的・政策的ポートフォリオを自ら案出できる確固たる判断基準をもつことのできる高度の資質や能力。

１．入学試験日程一覧

入試期	入試種別	入学検定料 納入期間 （日付印有効）	出願期間 （日付印有効、ただし国外から出願する場合は出願期間の最終日必着）	第２次試験 日時・会場	合格発表 日時・場所	入学 手続 締切日
博士前期課程						
Ⅰ期	一般 外国人留学生 社会人特別 ３年早期卒業予定者	6/24（水）～7/8（水）	7/3（金）～7/8（水）	9/17（木） 駿河台ｷｬﾝﾊﾟｽ	9/24（木） 午前10時 情報ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究科 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ※	11/27 （金）
Ⅱ期	一般 外国人留学生 社会人特別	11/18（水）～12/2（水）	11/27（金）～12/2（水）	2/18（木） 駿河台ｷｬﾝﾊﾟｽ	2/22（月） 午前10時 情報ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究科 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ※	3/10 （水）
博士後期課程						
Ⅱ期	一般 外国人留学生	11/18（水）～12/2（水）	11/27（金）～12/2（水）	2/18（木） 駿河台ｷｬﾝﾊﾟｽ	2/22（月） 午前10時 情報ｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝ研究科 ﾎｰﾑﾍﾟｰｼﾞ※	3/10 （水）

※　情報コミュニケーション研究科ホームページ：https://www.meiji.ac.jp/dai_in/infocom/index.html

２．入学試験

博士前期課程

① 募集人員

情報コミュニケーション学専攻　２５名

② 選考方法

ア　第１次試験（書類審査）について

第１次試験は、出願書類に基づいて、志願者の研究分野、研究内容、並びに研究に必要な言語能力等を総合的に審査します。第１次試験に合格した場合のみ、第２次試験（試問準備及び面接試問）を受験することができます。受験票の送付をもって、第１次試験に合格したものとします。

イ　第２次試験（面接試問）について

第１次試験合格者を対象に、第２次試験として面接試問を実施します。第２次試験は、第１次試験の審査内容に加え、志願者の研究分野の専門的知識等を審査します。なお、面接に先立って、400 字程度の要約課題を実施します。課題の内容は、各志願者の専門知識の理解度を確認するために研究分野を踏まえて作成します。
※学内選考、社会人、３年早期卒業予定者入試志願者は、要約課題を実施しません。

なお、本研究科の定める基準点に達した者を合格とするため、試験結果によっては、合格者数が募集人員を満たさない場合があります。また、入学試験は、本研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。

③　英語外部試験のスコア提出について（一般、外国人留学生入学試験志願者のみ／必須）

一般入学試験及び外国人留学生入学試験志願者は、２０２４年４月以降に受験した TOEIC(L&R)、TOEFL iBT、IELTS（Academic Module）または実用英語技能検定試験のスコア等の証明書を提出してください。詳細は、16 ページを参照してください。

④　日本語能力試験（Ｎ１）の合格証明書提出について（該当者のみ／必須）

日本国以外の国籍を有し、日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、２０２４年４月以降に合格した日本語能力試験（Ｎ１）の**「認定結果及び成績に関する証明書」の原本**を提出してください。詳細は、17 ページを参照してください。

（１）一般入学試験

① 出願資格

以下の①から⑨のいずれかに該当する者。出願資格について不明な点がある場合は、大学院事務室(29 ページを参照) まで問い合わせてください。

① 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
② 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに学士の学位を授与される見込みの者
③ 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
④ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
⑤ 日本国内において、外国の大学の課程(その修了者が当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了したとされるものに限る。)を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
⑥ 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者
⑦ 専修学校の専門課程(修業年限が 4 年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。)で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者
⑧ 文部科学大臣が指定した者 (注)
⑨ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 (注)

注意事項

(注) 出願資格のうち、⑧あるいは⑨での受験を希望する場合は、大学院事務室まで申し出て、**Ⅰ期入試は 6 月 22 日（月）・Ⅱ期入試は 11 月 16 日（月）まで【いずれも必着】に、通常の出願書類一式に加え、「出願資格審査申請書（本学の指定書式）」**を提出してください。
なお、**出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。**

（２）外国人留学生入学試験

① 受験区分

A区分	外国の大学・大学院のみを卒業・修了した者又は卒業見込み・修了見込みの者
B区分	日本の大学・大学院を卒業・修了した者又は卒業見込み・修了見込みの者

② 出願資格

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下の①～④のいずれかに該当する者。出願資格について不明な点がある場合は、大学院事務室 (29 ページを参照) まで問い合わせてください。

① 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (注1)
② 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が 3 年以上の課程を修了することにより、学士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに学位を授与される見込みの者
③ 日本において、外国人留学生として日本の大学を卒業した者及び2027年3月31日までに卒業見込みの者
④ 本研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 22 歳に達する者 (注1) (注2)
※ 初等･中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められることがあります。
出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

注意事項

（注１）情報コミュニケーション研究科博士前期課程では、**「学士」又はその上位に相当する学位を取得していること、**あるいは**2027 年 3 月 31 日までに取得する見込みであること**が出願要件となります。

（注２）出願資格④での受験を希望する場合は、大学院事務室へお問い合わせください。出願資格審査が必要となりますので、出願資格審査に必要な書類を**Ⅰ期入試は 6 月 22 日（月）・Ⅱ期入試は 11 月 16 日（月）まで【いずれも必着】に、通常の出願書類一式に加え、「出願資格審査申請書（本学の指定書式）」**を提出してください。
なお、**出願資格審査が終了するまで受理を保留するので、入学検定料は納入しないでください。**

（３）社会人特別入学試験

① 出願資格

次の(1)及び(2)の条件を満たしている者。出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（29 ページを参照）まで問い合わせてください。

(1) 28 歳以上（2027 年 4 月 1 日時点）の者で、次のいずれかに該当する者
- ① 大学を卒業した者及び 2027 年 3 月 31 日までに卒業見込みの者
- ② 外国において、学校教育における 16 年の課程を修了した者及び 2027 年 3 月 31 日までに修了見込みの者 (注1)
- ③ 学校教育法施行規則第 155 条第１項の規定に基づき文部科学大臣が指定した者
- ④ 本研究科で、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者 (注2)

(2) 適切かつ明確な研究テーマ及び研究計画を持っている者

注意事項

（注１）情報コミュニケーション研究科博士前期課程では、**「学士」又はその上位に相当する学位を取得していること、**あるいは**2027 年 3 月 31 日までに取得する見込みであること**が出願要件となります。

（注２）出願資格のうち、(1)-④での受験を希望する場合は、大学院事務室へお問い合わせください。出願資格審査が必要となりますので、出願資格審査に必要な書類を**Ⅰ期入試は 6 月 22 日（月）・Ⅱ期入試は 11 月 16 日（月）まで【いずれも必着】に、通常の出願書類一式に加え、「出願資格審査申請書（本学の指定様式）」**を提出してください。
なお、**出願資格審査が終了するまで受理を保留としますので、入学検定料は納入しないでください。**

（４）３年早期卒業予定者入学試験

①　出願資格

明治大学情報コミュニケーション学部において、出願時に３年次に在籍する者で、次の条件をすべて満たしている者。

①　２年次終了時に、卒業に必要な単位数のうち 76 単位以上を修得していること
②　２年次終了時において、「Ｓ」及び「Ａ」の評価である科目の修得単位数が、履修登録をした科目のうち卒業に必要な単位数に算入される科目の総単位数（「Ｆ」を含む。）の 80 パーセント以上であること。又は、ＧＰＡが 3.20 以上であること
③　３年早期卒業予定者である証明書を提出できる者

②　入学資格

３年早期卒業予定者入学試験による合格者で、次の条件をすべて満たしている者。

①　３年次終了時に、卒業に必要な単位数を修得し、大学を卒業した者
②　３年次終了時において、「Ｓ」及び「Ａ」の評価である科目の修得単位数が、履修登録をした科目のうち卒業に必要な単位数に算入される科目の総単位数（「Ｆ」を含む。）の 80 パーセント以上であること。又は、ＧＰＡが 3.10 以上であること

出願資格、入学資格について不明な点がある場合は、大学院事務室（29 ページを参照）まで問い合わせてください。

博士後期課程

① 募集人員

情報コミュニケーション学専攻　６名

② 選考方法

ア　第１次試験（書類審査）について

第１次試験は、出願書類に基づいて、志願者の研究分野、研究内容、並びに研究に必要な言語能力等を総合的に審査します。第１次試験に合格した場合のみ、第２次試験（面接試問）を受験することができます。受験票の送付をもって、第１次試験に合格したものとします。

イ　第２次試験（面接試問）について

第１次試験合格者を対象に面接試問を実施します。第２次試験は、第１次試験の審査内容に加え、志願者の研究分野の専門的知識等を審査します。

なお、本研究科の定める基準点に達した者を合格とするため、試験結果によっては、合格者数が募集人員を満たさない場合があります。また、入学試験は、本研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施しています。合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たすことを、総合的な視点により合否を判断しております。

③ 日本語能力試験（Ｎ１）の合格証明書等について（該当者のみ／必須）

日本国以外の国籍を有し、日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、２０２４年４月以降に合格した日本語能力試験（Ｎ１）の**「認定結果及び成績に関する証明書」の原本**を提出してください。詳細は、17 ページを参照してください。

（１）一般入学試験

① 出願資格

以下の①～⑧のいずれかに該当する者。出願資格について不明な点がある場合は、大学院事務室（29 ページを参照）まで問い合わせてください。

① 修士の学位又は専門職学位を有する者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
② 外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
③ 外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
④ 日本国内において、外国の大学院の課程を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了し、修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
⑤ 国際連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者及び 2027 年 3 月 31 日までに授与される見込みの者
⑥ 外国の学校、④の教育施設又は国際連合大学の教育課程を履修し、博士論文研究基礎力審査に相当するものに合格し、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認められた者 (注1)
⑦ 文部科学大臣が指定した者 (注1) (注2)
⑧ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027 年 3 月 31 日までに 24 歳に達する者 (注1) (注2)

注意事項

（注１）出願資格のうち、⑥、⑦あるいは⑧での受験を希望する場合は、大学院事務室へお問い合わせください。出願資格審査が必要となりますので、出願資格審査に必要な書類を **11 月 16 日（月）まで【必着】に、通常の出願書類一式に加え、「出願資格審査申請書（本学の指定様式）」** を提出してください。
なお、**出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。**

（注２）大学を卒業し、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。あるいは、外国において学校教育における 16 年の課程を修了した後、又は外国の学校が行う通信教育における授業科目を日本国内において履修することにより、当該外国の学校教育における 16 年の課程を修了した後、大学、研究所等において、２年以上研究に従事した者で、大学院において、当該研究の成果等により、修士の学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者。

（２）外国人留学生入学試験

①　出願資格

日本国以外の国籍を有し、初等・中等教育における全ての課程を外国の教育機関で修了した者で、以下の①～③のいずれかに該当する者。出願資格について、不明な点がある場合は、大学院事務室（29 ページを参照）まで問い合わせてください。

① 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、外国において修士の学位又は専門職学位に相当する学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者
② 大学を卒業し学士の学位（これに相当する学位を含む。）を授与され、日本の大学院において外国人留学生として修士の学位又は専門職学位を授与された者及び2027年3月31日までに授与される見込みの者
③ 本研究科において、個別の入学資格審査により、修士の学位又は専門職学位を有する者と同等以上の学力があると認めた者で、2027年3月31日までに24歳に達する者（注）

※ 初等・中等教育の一部を日本国内で修学したことがある場合、出願資格が認められる場合があります。出願資格について不明な点がある場合には、必ず事前に出願資格の審査を受けてください。

注意事項

（注） 出願資格③での受験を希望する場合は、大学院事務室へお問い合わせください。出願資格審査が必要となりますので、出願資格審査に必要な書類を**11 月 16 日（月）まで【必着】に、通常の出願書類一式に加え、「出願資格審査申請書（本学の指定様式）」**を提出してください。
なお、**出願資格審査が終了するまで受理を保留にするので、入学検定料は納入しないでください。**

3．出願書類一覧

出願書類の記入方法は、14 ページからの「（2）出願書類の記入方法」を参照してください。

博士前期課程

※ 一般・社会人特別・3 年早期卒業予定者入学試験志願者であっても、日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く。）は、外国人留学生入学試験と同じ書類を提出してください。

※ 出願資格審査を受ける必要のある者（＊5、6、7 ページ参照）は、「出願資格審査申請書」をダウンロードして、必要事項を記入の上出願書類と一緒に提出してください。

入試種別	提出書類	ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ	自分で用意	14 ページからの記入方法の番号
一般	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書	○		⑤
	卒業（見込）・修了（見込）証明書　※学位取得証明書提出者は不要		○	⑥
	成績証明書		○	⑥
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑥
	TOEIC、TOEFL、IELTS、英検のスコア等の証明書		○	⑦
	出願書類チェックリスト	○		⑭
社会人特別	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書	○		⑤
	卒業（見込）・修了（見込）証明書　※学位取得証明書提出者は不要		○	⑥
	成績証明書		○	⑥
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑥
	出願書類チェックリスト	○		⑭
3 年早期卒業予定者	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書	○		⑤
	卒業見込証明書		○	⑥
	成績証明書		○	⑥
	出願書類チェックリスト	○		⑭
外国人留学生	A 票（入学試験志願票・受験票）、B 票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書（外国籍用）	○		②、④
	研究計画書	○		⑤
	卒業（見込）・修了（見込）証明書　※学位取得証明書提出者は不要		○	⑥
	成績証明書		○	⑥
	学位取得（見込）証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑥
	TOEIC、TOEFL、IELTS、英検のスコア等の証明書		○	⑦
	日本語能力試験（N1）の証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑧
	経費支弁方法計画書	○		⑪
	パスポートのコピー		○	⑫
	在留カード（特定在留カード）の表面・裏面コピー		○	⑬
	出願書類チェックリスト	○		⑭
	写真 1 枚及び海外送付先住所を記したメモ ※「受験許可証」発行希望者のみ、詳細は 31 ページ参照		○	―

博士後期課程

※ 一般入学試験志願者であっても、日本国以外の国籍を有する者（特別永住者を除く。）は、外国人留学生入学試験と同じ書類を提出してください。

※ 出願資格審査を受ける必要のある者（＊10、11ページ参照）は、「出願資格審査申請書」をダウンロードして、必要事項を記入の上出願書類と一緒に提出してください。

入試種別	提出書類	ﾀﾞｳﾝﾛｰﾄﾞ	自分で用意	14ページからの記入方法の番号
一般	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書	○		②、④
	研究計画書	○		⑤
	卒業（見込）・修了（見込）証明書　※学位取得証明書提出者は不要		○	⑥
	成績証明書		○	⑥
	学位取得(見込)証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者(見込の者も含む)のみ		○	⑥
	修士論文、要旨等		○	⑨
	推薦書 ※他大学・他大学院・本学他研究科からの志願者のみ	○	○	⑩
	出願書類チェックリスト	○		⑭
外国人留学生	A票（入学試験志願票・受験票）、B票（振込連絡票）	○		①、②、③
	入学志願書（外国籍用）	○		②、④
	研究計画書	○		⑤
	卒業（見込）・修了（見込）証明書 ※学位取得証明書提出者は不要		○	⑥
	成績証明書		○	⑥
	学位取得(見込)証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者(見込の者も含む)のみ		○	⑥
	日本語能力試験（N1）の証明書 ※外国の大学・大学院の卒業・修了者（見込の者も含む）のみ		○	⑧
	修士論文、要旨等		○	⑨
	推薦書 ※他大学・他大学院・本学他研究科からの志願者のみ	○	○	⑩
	経費支弁方法計画書	○		⑪
	パスポートのコピー		○	⑫
	在留カード（特定在留カード）の表面・裏面コピー		○	⑬
	出願書類チェックリスト	○		⑭
	写真１枚及び海外送付先住所を記したメモ ※「受験許可証」発行希望者のみ、詳細は31 ページ参照		○	―

４．出願手続

（１）出願方法

国内出願者：入学検定料納入後、角型２号封筒（240㎜×332㎜）を各自で用意し、封筒表面にダウンロードした出願用宛名用紙を貼付して、郵便局から**[速達・簡易書留郵便]**で郵送してください。研究科により出願先が異なりますので送付先を間違わないよう注意してください。

国外出願者：ＥＭＳやＤＨＬ等、速達で配達状況が確認可能な国際郵便又は国際宅配便で送付してください。各出願期間の最終日必着とします。送付にかかる日数を十分考慮し、余裕をもって発送してください。**また、出願書類の提出にあたっては、できる限り日本に在住する代理人が、出願書類を郵送してください。**

注1）出願書類の受付は、すべて郵送に限ります。
注2）出願資格を満たしていない者の出願書類は受理しません。
注3）いったん提出された書類は、返還、差し替えはできません。
注4）出願書類に疑義がある場合、志願者へ追加資料の提出を求めることがあります。また、志願者以外が作成した書類（証明書等）に疑義がある場合、本学から関係機関へ照会することがあります。

（２）出願書類の記入方法

記入上の注意

ア　**黒のボールペン（消せるボールペン不可）を使用し、楷書で丁寧に記入してください。**
イ　※印欄は記入しないでください。
ウ　Ｂ～Ｄ票（検定料振込用紙）は切り離さず記入してください。
エ　年号は西暦を使用してください。

提　出　書　類
①　Ａ票（入学試験志願票・受験票）
19 ページの「Ａ票の記入方法」を参照の上、記入してください。
②　カラー写真
出願前３か月以内に撮影したカラー写真（４㎝×３㎝）２枚（同一写真）を、Ａ票（入学志願票）と入学志願書に貼付してください。 ア　光沢仕上げ、正面、上半身、脱帽、背景及び枠なし（スナップ写真・カラープリンター出力写真は不可です。）。 イ　画像を写真アプリ等で加工していないこと（人物切り抜き加工も不可）、また不鮮明なものや、髪や影で目元輪郭を隠している等、個人の判別・本人確認が困難な写真は受け付けません。 ウ　受験時に眼鏡着用の者は、眼鏡着用の写真をご用意ください。 エ　提出された写真を利用して、入学後、在学期間を通して使用する学生証を作成します。 ※　日本国外から出願する者のうち、受験のための短期滞在のビザを取得するため、本学の受験許可証の発行を希望する者は、この他に同一の写真１枚（４㎝×３㎝）が必要となります。詳細は 31 ページ「13. ビザ（査証）について」を参照してください。

提　出　書　類

③　B票（振込連絡票）

ア　検定料振込用紙の振込連絡票（B票）は、検定料納入後、金融機関の収納印が押されていること、又は収納証明書が貼付されていることを確認し、送付してください。

イ　課程・研究科・専攻・氏名（フリガナ）を間違いなく記入してください。

※　詳細については、25 ページ「（3）入学検定料の納入」を参照してください。なお、海外送金を希望する者は、別途大学院事務室へ連絡してください。

④　入学志願書、入学志願書（外国籍用）

※　日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）は、必ず外国籍用の入学志願書を使用してください。

ア　課程・研究科・専攻を間違いなく記入してください（コースは記入不要）。

イ　カラー写真を貼付してください。

ウ　緊急連絡先は、昼間、確実に本人と連絡がとれる方の氏名・間柄・電話番号（携帯電話番号可）を記入してください。
海外在住の留学生は、志願者についてよく知っている人物で日本在住の方の氏名と電話番号を記入してください。

エ　「研究指導担当教員一覧」を参照の上、正確に記入してください。
博士前期課程を志願する者は、第２希望まで記入することができます。
博士後期課程を志願する者は、事前に希望指導教員の許可を得ることを推奨します（※許可印は不要）。

オ　研究テーマ欄は入学後の研究テーマを記入してください。

カ　学歴欄は出身（見込みを含む）大学等、すべて記入し、年号は西暦を使用してください。
科目等履修生・研究生・聴講生等もすべて記入してください。
外国籍用の入学志願書を使用する場合、学歴欄は小学校入学から出身大学等（卒業・修了見込みも含む）、日本語学校在学歴を含み、すべて記入してください。
（ダブルディグリー制度を利用している場合：正規の就学年数には本来、卒業・修了までにかかる年数を記入し、在学年数には、実際に通う年数を記入してください。※記入の手引き参照）

キ　卒業・修士論文題名欄で、卒業・修士論文のない者は欄に斜線を入れてください。修士論文に代えてリサーチペーパー等を提出した者は、その旨を明記した上、題名を記入してください。

ク　職歴にアルバイトは含みません。

ケ　日本国外からの志願者（特別永住者は除く。）は、受験許可証の要・不要のいずれかを〇で囲んでください。
受験ビザの詳細は 31 ページ「13. ビザ（査証）について」を参照してください。

⑤　研究計画書

情報コミュニケーション研究科の『「研究計画書」書式』（ホームページよりダウンロード）に従い、志願する課程・研究科・専攻・氏名（フリガナ）、研究テーマ、希望指導教員の選択理由を明記した上で、研究計画（1,600 字以上 3,200 字以内）、研究方法、参考文献並びに将来の志望進路を具体的に記述してください。

提　出　書　類

⑥　卒業(見込)・修了(見込)証明書・成績証明書・学位取得(見込)証明書

ア　**すべての出身大学・大学院の卒業（見込）・修了（見込）証明書・成績証明書の原本を提出してください。**

イ　氏名及び生年月日、入学年月、卒業（修了）年月の記載が必須です。

ウ　**外国の大学・大学院を卒業・修了した者は、成績証明書及び学位取得証明書を提出してください。**

エ　外国の大学･大学院出身者は、出身大学が発行する**英語又は日本語による証明書の原本**を提出してください。詳細は、23、24ページ「参考 外国の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合の成績証明書、学位取得（見込）証明書及び卒業(見込)・修了(見込)証明書について」を参照してください。

オ　編入学を経て卒業した者は、卒業時と編入学前の両方の成績証明書を提出してください。

カ　ダブルディグリー制度により２つの大学から学位を取得している者（見込みを含む）は、原則として双方の大学の証明書を提出してください。

キ　科目等履修生・研究生・聴講生等も「在学証明書」と「成績証明書」の原本を提出してください。

ク　博士後期課程志願者のうち、明治大学大学院博士前期課程・修士課程修了者、修了見込者（専門職大学院修了・修了見込者を除く）は、学部の卒業・成績証明書は必要ありません。明治大学大学院博士前期課程・修士課程の修了（見込）証明書及び成績証明書のみ提出してください。

ケ　退学、除籍者は、それがわかる証明書を提出してください。

コ　婚姻等の事由により戸籍と証明書の氏名が異なる場合、戸籍抄本を添付してください。

⑦　TOEIC、TOEFL、IELTS、英検の証明書等（博士前期課程一般・外国人留学生入試志願者のみ／必須）

博士前期課程一般・外国人留学生入学試験を志願する者は、２０２４年４月以降に受験した下表のいずれかの英語外部試験のスコア等の証明書をご提出ください。なお、出願期限後に届いた証明書等は一切認めません。

※提出書類は返却しませんので、予めご了承ください。

種別	必要書類
TOEIC（L&R） 注）IPテストは対象外	**公式認定証（原本）** （必要な手続き※を参照）
TOEFL iBT 注）MyBestスコアも出願スコアとして認める 注）TOEFL ITPおよびTOEFL iBT Home Editionは対象外	Institutional（Official）Score Report 試験実施団体（米国ETS）から明治大学大学院への直送手続きが必要です。（必要な手続き※を参照）
IELTS（Academic Module） 注）One Skill Retakeも出願スコアとして認める 注）IELTS Indicator、IELTS Onlineは対象外	**Test Report Form（コピー）及び郵送での直送依頼が完了したことが分かる画面を印刷したもの**
実用英語技能検定試験	**実用英語技能検定試験の合格証明書（原本）**

※TOEIC（L&R）の必要な手続き（以下の①または②のいずれかを提出してください。）

①紙の公式認定証の原本を郵送で提出する。

②デジタル公式認定証のPDF版をA4サイズの紙に印刷したものを郵送で提出する。

【日本国内での受験者のみ／スコア確認用のQRコードが付されているものに限る】

※デジタル公式認定証は、日本国内で実施される2024年4月以降実施の試験で導入されています。
詳細は、試験実施機関である（一財）国際ビジネスコミュニケーション協会の情報を確認してください。

※TOEFL iBT の必要な手続き

TOEFL 受験申込時または申込後に ETS アカウントにログインをして、スコアレポートの送付手続を行ってください。また、出願書類チェックリストに送付手続日、受験日を記載してください。

明治大学大学院の Institution Code【5132】
情報コミュニケーション研究科の Department Code【80】

※IELTS(Academic Module) の必要な手続き

IELTS は、試験実施団体にスコアの郵送による直送依頼を行ってください。直送依頼は、出願締切日から遡って 3 週間以上前を目安に早めに手配してください。直送先は以下の通り指定してください。

(1) 送付方法：郵送／By post
(2) 学校・機関名: 明治大学／Meiji University
(3) 提出先: 大学院事務室／Graduate School Office
(4) 送付先住所
〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1
1-1 Kanda-surugadai, Chiyoda-ku, Tokyo, 101-8301, JAPAN

⑧ 日本語能力試験（N1）の合格証明書等（該当者のみ／必須）

日本国以外の国籍を有し、日本の大学・大学院を卒業・修了せず、外国の大学・大学院のみを卒業・修了（見込みを含む）した者は、２０２４年４月以降に合格した公益財団法人日本国際教育支援協会と独立行政法人国際交流基金主催の日本語能力試験（Ｎ１）の**「認定結果及び成績に関する証明書」の原本**を提出してください。なお、出願期限後に届いた証明書等は一切認めません。

※ 提出書類は返却しませんので、予めご了承ください。

⑨ 修士論文、要旨（博士後期課程志願者のみ）

博士後期課程志願者は以下に従い、「修士論文」(コピー)及び「要旨」を提出してください。それぞれの提出物には、必ず志望研究科・専攻と氏名を明記してください。

●修士論文・要旨の提出対象者・提出部数（修了見込者は合否判定前の修士論文・要旨でも可）

① 本学情報コミュニケーション研究科からの志願者
修士論文 ― 不要、 要旨 ― 不要

② 他大学院及び本学他研究科からの志願者
修士論文 ― PDF データ、 要旨 ― PDF データ

※ 修士論文を作成しないで課程を修了（見込みを含む）した者は、「修士論文相当」の論文（論文の分量は和文で 40,000 字以上、要旨は 3,000 字以上）を、作成年月を明記の上提出してください。論文を公表している場合は、公表場所も明記してください。

※ 「修士論文」(コピー)及び「要旨」の PDF データ提出については、下記のアドレスに送っていただきますが、**2027 年 1 月 12 日（火）【必着】まで**延期することができます。延期希望者については、提出延期希望する旨を出願書類チェックリストに記載してください。情報コミュニケーション研究科メールアドレス：jokomiken@mics.meiji.ac.jp

⑩ 推薦書（博士後期課程志願者のうち、該当者のみ提出必須）

他大学、他大学院及び本学他研究科からの博士後期課程志願者は、**出身大学院研究科指導教員**の推薦書を提出してください。

必須項目

ア 推薦者の所属大学名
イ 推薦者の肩書
ウ 推薦者と志願者の関係
エ 日付
オ 署名

※ 書式自由。日本語又は英語で記載してください。必要に応じ、参考書式をダウンロードしてご利用ください。

提　出　書　類

⑪　経費支弁方法計画書[日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く。）のみ]

ア　課程・研究科・専攻を間違いなく記入してください（コースは記入不要）。

イ　本学に留学する際に必要な学費・生活費の支弁方法について記載してください。合計額が１年間の学費（34 ページ参照）・生活費を十分賄える額になるように、記入してください。

ウ　１年間の学費については、32 ページ「14. 入学諸費用等について」を参照してください。

エ　本学進学のために在留資格を取得又は更新する際に、出入国在留管理局に在留中の経費支弁を証明する書類の提出が必要になります。証明ができない場合、在留資格が発給されない可能性もありますので、経費支弁について十分計画した上で、出願をしてください。

⑫　パスポートのコピー[日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）のみ]

「氏名・生年月日・パスポート番号・有効期限の記載・写真の貼ってあるページ」をコピーして提出してください。

⑬　在留カード（特定在留カード）の表面・裏面コピー[日本国以外の国籍を有する志願者（特別永住者を除く）のみ]

試験日までの在留を確認できる在留カード（特定在留カード）の表面と裏面両方のコピーを提出してください。

出願時点で、在留カードを更新中の方は、「出願チェックリスト」の備考欄に申請日を記入し、更新でき次第、更新後の在留カードの表面・裏面両方のコピーを再度、提出してください。なお、特定在留カードのコピーを提出する際は、マイナンバー記載部分は必ず隠してからコピーしてください。

⑭　出願書類チェックリスト

提出した書類はすべて提出欄にチェックして提出してください。

A票の記入方法

<table>
<tr><td>課程</td><td>博士前期・博士後期のいずれかを〇で囲んでください。</td></tr>
<tr><td>研究科、 専攻</td><td>情報コミュニケーション研究科　情報コミュニケーション学専攻　と記入してください。
（「コース・専修・系」欄は、記入不要）</td></tr>
<tr><td>研究科コード</td><td>該当する４桁を次から選び、記入してください。
<table>
<tr><th>研究科</th><th>専攻</th><th>博士前期課程</th><th>博士後期課程</th></tr>
<tr><td>情報コミュニケーション</td><td>情報コミュニケーション学</td><td>4811</td><td>5811</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>氏　名</td><td>戸籍、住民票に記載の氏名を楷書で記入してください。
外国人留学生の方は、住民票又はパスポートと同一の綴りのアルファベット（大文字）氏名［姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に］を記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。</td></tr>
<tr><td>生年月日</td><td>西暦で記入し、 月日が１桁の場合は、 十の位に０をつけて記入してください。</td></tr>
<tr><td>性　別</td><td>男「M」、 女「F」のいずれかを〇で囲んでください。</td></tr>
<tr><td>住　所
（受験票送付先）</td><td>日本国内の住所を記入してください。本人が日本国内にいない場合は、 代理人や代理機関の住所・名前を記入してください。（受験票・入学手続書類の送付先です。）
また、 出願書類の不明な点を確認する場合にも使用するので、迅速かつ確実に連絡がとれる宛先を記入し誤記や不備のないよう十分注意してください。
＊「丁目」「番地」「号」などはハイフン「－」でつないで記入してください。
（例：東京都千代田区神田駿河台１丁目２番３号　明治アパート４０１号室の場合は、
東京都千代田区神田駿河台１－２－３－４０１　明治アパートと記載してください。）
＊電話番号は左づめにし、 局番の区切りはハイフン「－」を記入してください。（携帯電話番号可）</td></tr>
<tr><td>カラー写真貼付欄</td><td>剥がれないようにしっかり貼付してください。</td></tr>
<tr><td>最終出身大学
最終出身大学院</td><td>最終出身校を記入してください。
博士後期課程受験者は、大学・大学院ともに記入してください。</td></tr>
<tr><td>卒業年月
修了年月</td><td>西暦で記入し、次のいずれかの数字を〇で囲んでください。
<table>
<tr><td>１　卒業見込・修了見込</td><td>２　卒業、修了</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>本学・他大学</td><td>出身大学（大学院）について、次のいずれかの数字を〇で囲んでください。
<table>
<tr><td>１　明治大学</td><td>０　他大学</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>大学種類</td><td>大学種類について次の番号から選び、 記入してください。
<table>
<tr><td>１ 国立（日本）</td><td>２ 公立（日本）</td><td>３ 私立（日本）</td><td>４ 外国</td><td>５ その他</td></tr>
</table></td></tr>
<tr><td>現　職</td><td>現在の職業について、 会社名及び就業年月を記入してください。</td></tr>
</table>

<table>
<tr><td>職　種</td><td>現在の職業について、 職種を次から選び、 その２桁の数字を記入してください。
<table><tr><td>01 営業
02 経理
03 調査企画
04 人事労務
05 研究開発</td><td>06 設計
07 生産技術
08 生産管理
09 施工
10 商品企画</td><td>11 一般事務
12 システムエンジニア
13 教員
20 その他</td></tr></table></td></tr>
<tr><td>業　種</td><td>現在の職業について、 業種を次から選び、 その２桁の数字を記入してください。
01　製造業 （食料品、 衣服、 木製品、 化学工業製品、 ガラス製品、 金属製品、 機械器具製品等）
02　出版・印刷・放送・広告 （新聞業、 出版業、 印刷業、 広告代理店、 テレビ局）
03　電気・ガス・熱供給・水道業 （電気、 ガス、 熱を媒体とするエネルギー、 水道）
04　運輸・通信業 （鉄道業、 道路旅客運送業、 旅行業、 通信業）
05　卸売業 （総合商社、 一般商社）
06　小売業 （百貨店、 スーパー、 飲食店、 自動車、 家電製品、 医薬品等）
07　金融業 （銀行、 信用金庫、 証券業、 生命保険、 損害保険）
08　教育 （小・中・高等学校、 大学、 教育機関、 予備校）
09　サービス業 （ニュース供給業、 法律・公認会計士・税理士事務所、経営コンサルタント、ホテル、娯楽施設）
10　医療・保健業 （病院、 保健衛生、 廃棄物処理業）
11　非営利団体 （社会保険、 学術研究機関、 政治・経済団体）
12　公務 （国家公務、 地方公務）
20　その他</td></tr>
<tr><td>指導教員名</td><td>「研究指導担当教員一覧表」を参照の上、志望する教員名を正確に記入してください。
博士前期課程志願者は、希望指導教員は、第２希望まで記入することができます。
博士後期課程志願者は、事前に希望指導教員の許可を得ることを推奨します。</td></tr>
<tr><td>筆記試験
受験科目</td><td>記入しないでください。</td></tr>
<tr><td>最終学生番号</td><td>明治大学出身者のみ１０桁の学生番号を記入してください。</td></tr>
<tr><td>入学形態１</td><td>次の記号から選び記入してください。
F　一般入試
G　外国人留学生入試
H　社会人特別入試
L　３年早期卒業予定者入試</td></tr>
<tr><td>入学形態２</td><td>外国籍の受験者で在留資格の種類が「留学」の場合、１「私費」、２「国費」のどちらかを○で囲んでください。</td></tr>
<tr><td>入学形態３</td><td>入学形態１で「H 社会人特別入試」の場合、次の番号から選び記入してください。
<table><tr><td>１　派遣</td><td>２　休職</td><td>３　無職</td><td>４　その他</td></tr></table></td></tr>
</table>

区　分	区分を次の番号から選び記入してください。 1　卒業見込、修了見込 2　学部３年生から 3　社会人（入学のため休職予定） 4　社会人（企業派遣） 5　社会人（入学のため退職予定） 6　社会人（在職その他〈主婦・定年退職者も含む〉） 7　その他（大学以外の教育機関・無職・浪人も含む）
学　費	該当のコードを次から選び、その２桁を記入してください。 （博士前期課程）　01　他大学卒業者 71　明治大学卒業者 （博士後期課程）　01　他大学卒業→他大学院修了者 71　明治大学大学院修了者 72　明治大学卒業→他大学院修了者
実施期	次の番号から選び記入してください。 1　2026年12月以前の入学試験受験者 2　2027年1月以降の入学試験受験者
奨学金	記入不要
国・地域	外国籍の受験者は、次ページの表を参照し、国・地域とそのコードを記入してください。
入学希望学年	記入不要

受験票　＊点線で切り取らずに提出してください。	
課　程	博士前期・博士後期のいずれかを○で囲んでください。
研究科、専攻	**情報コミュニケーション**研究科　**情報コミュニケーション学**専攻　と記入してください。 （「コース・専修・系」欄は、記入不要）
受験科目	記入しないでください。
氏　名	戸籍、住民票に記載の氏名を楷書で記入してください。 外国人留学生の方は、住民票又はパスポートと同一の綴りのアルファベット（大文字）氏名［姓（Family Name）名（First Name）（Middle Name）の順に］を記入してください。フリガナについては、通常使用する読みを記入してください。
受験番号	記入不要
大学取扱者印	記入不要

【 国・地域コード 】

国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード	国・地域	コード
韓国	201	スリランカ	216	ノルウェー	406	ブラジル	501	エジプト	801
朝鮮	202	モンゴル	217	スイス	407	チリ	502	モロッコ	802
中華人民共和国	203	ブータン	218	オーストリア	408	アルゼンチン	503	タンザニア	803
台湾	204	ミャンマー	219	オランダ	409	ペルー	504	エチオピア	804
マレーシア	205	シンガポール	220	ベルギー	410	ボリビア	505	スーダン	805
インドネシア	206	香港	221	スペイン	411	パラグアイ	506	リビア	806
タイ	207	マカオ	225	トルコ	412	ドミニカ	507	チャド	807
フィリピン	208	アメリカ合衆国	301	ロシア	413	ホンジュラス	508	ナイジェリア	808
ベトナム	209	カナダ	302	クロアチア	414	エルサルバドル	509	その他	999
カンボジア	210	メキシコ	303	エストニア	415	イラン	601		
ラオス	211	イギリス	401	キルギス	416	サウジアラビア	602		
インド	212	ドイツ	402	ウクライナ	417	アラブ首長国連邦	603		
パキスタン	213	フランス	403	ウズベキスタン	418	イスラエル	604		
ネパール	214	イタリア	404	ギリシャ	419	オーストラリア	701		
バングラデシュ	215	スウェーデン	405	ルーマニア	420	ニュージーランド	702		

参考　外国の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合の成績証明書、学位取得(見込)証明書及び卒業(見込)・修了(見込)証明書について

①　中国国内※の教育機関を卒業(見込)・修了(見込)の場合　※ 香港，台湾，マカオを除く。

中華人民共和国駐日本国大使館及び総領事館は、中国国内で発行された卒業証書及び成績表等の文書のコピーと原文一致、翻訳文と原文一致の公証を発行しません。中国国内で発行された各種証明書の公証・認証手続きは、中国国内の CHSI（中国高等教育学生信息網）（北京市）もしくは、CHSI の日本代理機構、CSSD（教育部学生服务与素质发展中心）において行われます。

Ⅰ　出願時において、卒業見込・修了見込の方

■ 出身大学が発行する以下の①から③の証明書（英語又は日本語）を提出してください。

①「学位取得見込証明書」
②「卒業（修了）見込証明書」
③出願締切日から３か月以内の「成績証明書」

★　出願後に卒業・修了した方は、速やかに「Ⅱ　卒業者・修了者」に記載のものを提出してください。

Ⅱ　卒業者・修了者

■ 「学位取得証明書」として、以下２点（両方）の電子認証報告を『中国高等教育学生信息網(CHSI)』から明治大学大学院へ直送メールにて提出してください。

①英文の「Online Verification Report of Higher Education Degree Certificate」
②中文の「中国高等教育学位在线验证报告」

CHSI へ学位取得証明書を申請する際の注意事項

1. 志願者自身がオンライン申請を行い、英文および中文で学位の認証を受けてください。
2. 電子認証報告メールを CHSI（CSSD）から、明治大学大学院へ直送する手続きをとってください。

電子認証報告メール送信先：in_ninsyo@meiji.ac.jp
直送されたもののみを有効とします。志願者本人が受領し、本学へ転送した証明書は無効とします。

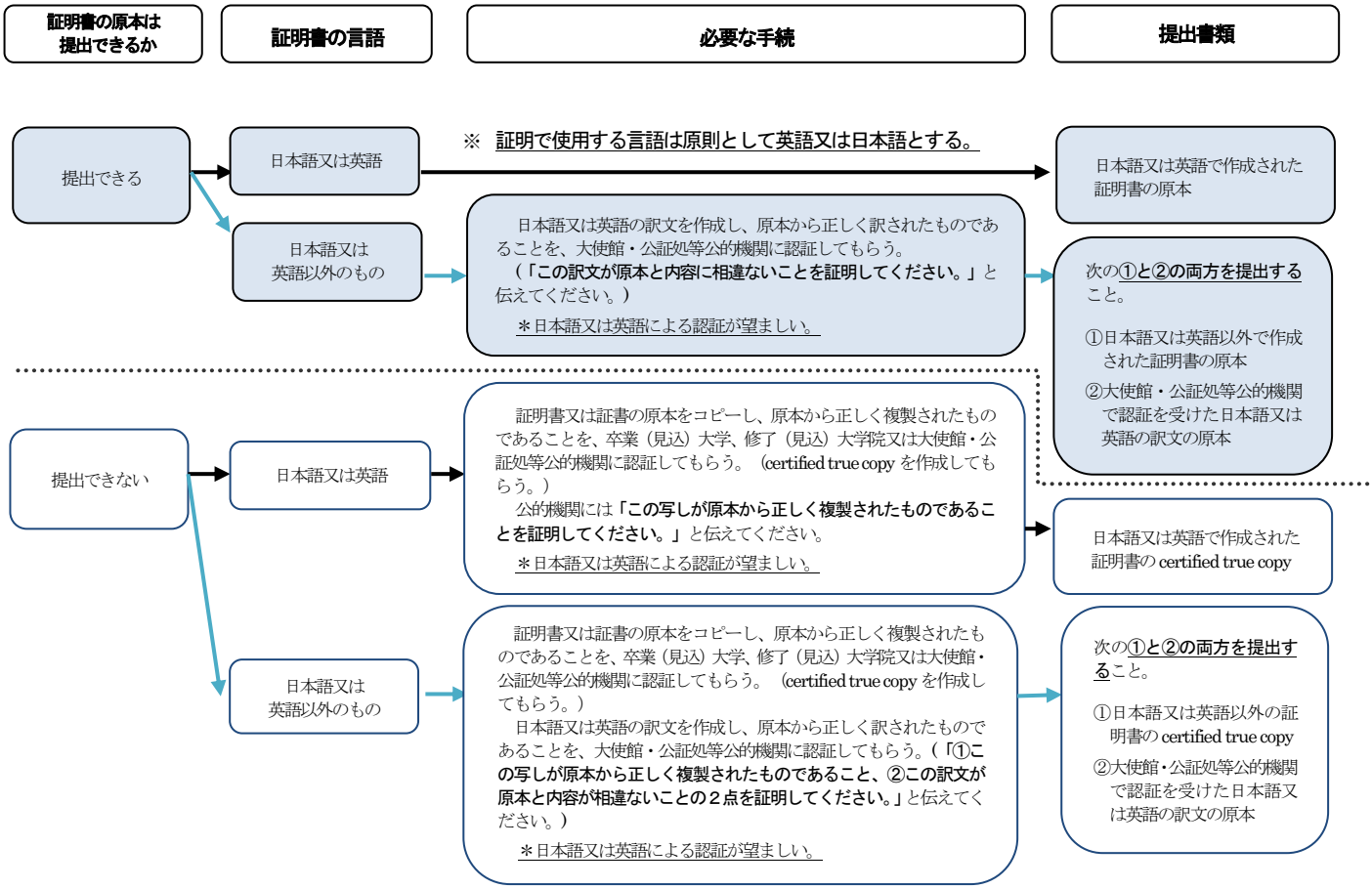
【注意】申請から発行までには時間がかかります。出願期間に間に合うよう、Ⅰ期入試は６月中、Ⅱ期入試は１１月中に、手続きを開始するようにしてください

■「成績証明書」は、以下①・②のいずれかを提出してください。

① 中国『中国高等教育学生信息網（CHSI)』からメールで明治大学大学院に直送される英文の「Verification Report of China Higher Education Student’s Academic Transcript」
※Online Verification Report ではありません。

② 『CHSI 中国学歴・学籍認証センター 日本代理機構』から明治大学大学院に直送される英文証明書又はメールで直送される英文の「Verification Report of China Higher Education Student’s Academic Transcript」

② ①以外の教育機関を卒業（見込）・修了（見込）の場合



（３）入学検定料の納入

入学検定料は 35,000 円です（消費税は課税されません)。
金融機関窓口（ゆうちょ銀行は除く）あるいは指定のコンビニエンスストアで納入するか、又はクレジットカードで支払いを行ってください。
納入期間・期限については、3 ページの「１．入学試験日程一覧」を参照してください。入学検定料は出願期間前にも振り込むことができます。
出願締切日を過ぎた振り込みは無効となりますので、注意してください。
いったん納入した入学検定料は返還いたしません。

１　金融機関から納入する場合　※ゆうちょ銀行は取扱いできません。

① 検定料振込用紙（Ｂ票～Ｄ票）に必要事項を記入後、金融機関の窓口から「電信扱」で振り込んでください。(振り込みは現金に限ります。小切手等の有価証券は不可。またＡＴＭ等は使用しないでください。）振り込みの際、手数料が必要となりますが、検定料振込依頼書（Ｄ票）に記載されている銀行の本支店から振り込む場合は無料です。
なお、Ｄ票の研究科コードにつきましては、19 ページを参照してください。

② 金融機関の窓口から入学検定料を納入後、Ｂ・Ｃ票を受け取り、Ｂ・Ｃ票の２ヶ所に金融機関の収納印が押されていることを、必ず確認してください。収納印がない場合は、入学検定料を納入したことにはなりませんので、十分注意してください。

③ 取扱金融機関の収納印をもって、本学の領収とします。領収書はあらためて発行しませんので大切に保管してください。Ｃ票は、切り離して本人が保管してください。

２　コンビニエンスストアを利用する場合

① 「ローソン」「セブンーイレブン」「ファミリーマート」「ミニストップ」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料支払方法」を参照してください。
なお、コンビニエンスストアでの納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）でご確認ください。
また、入学検定料納入期間以外、利用できません。

② コンビニエンスストアでの納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）でご確認ください。

③ 店頭で支払後に発行される「入学検定料・選考料 取扱明細書」の『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（Ｂ票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。

④ コンビニエンスストアが発行する「領収書」をもって本学の領収とします。
領収書はあらためて発行しませんので、大切に保管してください。

⑤ Ｃ票・Ｄ票は出願の際には不要です。

３ クレジットカード・中国決済を利用する場合

① 「ＶＩＳＡ」「マスターカード」「ＪＣＢ」「アメリカンエキスプレス」「銀聯（ユニオンペイ)」で納入ができます。利用方法については、別添の「コンビニエンスストア・クレジットカード・中国決済での入学検定料支払方法」を参照してください。
なお、クレジットカード・中国決済での納入の場合、別途手数料がかかります。詳しくは「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）でご確認ください。
また、入学検定料納入期間以外は利用できません。

② クレジットカード・中国決済での納入に関する問い合わせは、「E-支払いサービス」のホームページ（https://e-shiharai.net/）でご確認ください。

③ 支払完了後、Ｅ-支払いサイトの「申込内容照会」にアクセスし、受付完了時に通知された【受付番号】と【生年月日】を入力して『収納証明書』を印刷してください。『収納証明書』を切り取り、振込連絡票（Ｂ票：大学送付用）の所定欄に貼付してください。

④ 「領収書」は発行されません。**申込内容照会画面を必ず印刷し、大切に保管してください。**
なお、クレジットカードの中国決済の明細書には「E-支払事務局」と明記されます。

⑤ C票・D票は出願の際には不要です。

（４）受験及び修学における配慮について

明治大学では、「明治大学障がい学生支援基本方針」に基づき、合理的配慮を実施しています。

心身等に障がいがあり、受験上の配慮を希望する方は、Ⅰ期入試は6月22日（月）・Ⅱ期入試は11月16日（月）までに大学院事務室に申し出てください。

受験生からの申請に基づく審査の上、障害や疾病等の程度に応じた措置を講じます。ただし、すべての希望に対応できるとは限りません。また、期限までに申し出を行っていない場合は、合理的配慮の性質上、試験当日の配慮が難しい場合があります。

なお、修学上の支援に関しては、入学後に「明治大学生のための障がい学生支援あんない（https://www.meiji.ac.jp/learn-s/sgg/6t5h7p000015yip4-att/20250401meiji_annnai.pdf）」に沿って申請することで実施されます。

５．受験票

(1)　受験票は入学試験の１週間前までに届くよう発送します。受験日の１週間前になっても受験票が届かない場合は、大学院事務室に連絡してください。
(2)　受験票を紛失した場合は、大学院事務室（駿河台キャンパス：グローバルフロント５階）で再発行します。発行手続の時間を考慮し、早めに来校してください。
・再発行には、本人確認のため、写真付身分証明書（マイナンバーカード・運転免許証・パスポート・在留カード（特定在留カード））の提示が必要となります。
・写真付身分証明書をお持ちでない場合は、健康保険資格確認書・年金手帳等を提示していただきます。

６．入学試験当日の注意

(1)　第１次試験合格者へ、受験番号を付して受験票を送付します。試験当日は必ず受験票を持参してください。
(2)　第２次試験の詳細は、受験票発送の際に通知します。
(3)　携帯電話・スマートフォン・ウェアラブル端末（スマートウォッチ、スマートグラス等）などは、使用することはできません（時計としての利用も不可となります）。他の受験生の迷惑となるので、アラームを設定している人は解除した上で、通信機能や撮影機能がある機器は全て電源を切ってカバンにしまってください。試問準備または面接試問中にカバンの中で音が鳴った場合は、試験監督または面接委員が本人の了解を得ずにカバン等を試験場の外に持ち出します。
(4)　不正行為があるとみなされた場合は、それ以降の受験を認めません。

・ 試験当日、降雪や事故、台風等による交通機関の混乱が生じた場合、入学試験の実施に関する情報は本研究科ホームページでお知らせします。
・ 自然災害や火災・停電・公共交通機関遅延等の不測の事態により、所定の日程どおりに入学試験や合格発表等を実施することが困難であると本学が判断した場合、試験時間の繰り下げ、試験会場の変更及び日程の延期等の措置をとることがあります。なお、このことに伴う受験生の個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。
・ 自然災害や交通機関の事故・運休・遅延・ストライキ等の不測の事態が発生しても、試験時間繰り下げ等の措置を講ずることができない場合があります。遠距離移動がある場合や悪天候等が予想される場合には、あらかじめ試験場付近に宿泊場所を確保する等の対策を講じてください。なお、これらのことによって生じた受験生の負担費用、その他個人的不利益について、本学は一切その責任を負いません。

７．学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症に関する注意事項

入学試験当日、学校保健安全法で出席の停止が定められている感染症（インフルエンザ、新型コロナウイルス、麻疹、風疹等）に罹患し治癒していない場合は、他の受験生や監督者等への感染の恐れがありますので、受験をご遠慮願います。ただし、病状により学校医その他の医師において伝染の恐れがないと認めた場合は、この限りではありません。

なお、上記により受験をご遠慮いただいた場合でも、追試験等の特別措置及び入学検定料の返還は行いません。試験当日の体調管理については十分に注意してください。

８．合格発表

(1)　合格発表日時は、3ページの「１．入学試験日程一覧」を参照してください。

(2)　合格発表は情報コミュニケーション研究科ホームページ上で行います。電話や掲示による発表は行っていません。

(3)　発表と同時に、Ⅰ期入試合格者には合格通知書、Ⅱ期入試合格者には合格証及び入学手続書類を入学志願票（A票）に記入されている住所宛に郵便で送付します。大学での直接交付は行いません。

(注1)電話等による合否についての問い合わせには一切応じません。

(注2)Ⅱ期入試の入学手続書類は合格発表後に発送しますので、地域によっては数日要する場合もあります。

(注3)合格したにもかかわらず、合格通知書、合格証・入学手続書類が手元に届かない場合は、必ず大学院事務室へ連絡してください。

(注4)卒業（又は修了）見込みの者が、卒業（又は修了）できなかった場合、合格しても入学を認めません。

９．入学手続

（１）入学手続書類の送付及び入学手続期限について

入試種別	入学手続書類発送予定日	手続期限
Ⅰ期入試	２０２６年１１月中旬	２０２６年１１月２７日（金）
Ⅱ期入試	Ⅱ期入試合格発表日	２０２７年3月１０日（水）

（注 1）Ａ票に記入されている本人住所へ郵送しますので、それまでに住所等の変更があった場合は、大学院事務室に連絡してください。
（注 2）上記の発送予定日を過ぎても、手続書類が届かない場合は、必ず大学院事務室まで連絡してください。
（注 3）入学手続書類の不着及び遅配を理由とした入学手続期間終了後の入学手続は一切認めません。

（２）入学手続について

(1) 入学手続書類にて案内する「入学手続の手引」を参考に入学手続期間内に所定の手続きを行ってください。
(2) 入学手続には下記のものが必要となるので、あらかじめ用意しておいてください。
ア　入学諸費用（32 ページ「14. 入学諸費用等について」を参照のこと。）
イ (a) 日本の大学・大学院を卒業した者
卒業・修了証明書、成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
(b) 外国の大学・大学院を卒業した者
成績証明書（出願時に見込みの証明書を提出した者のみ）
学位取得証明書（出願時に未提出の者のみ）
ウ　住民票
エ　保証人の住民票(日本国以外の国籍を有する志願者)

（注 1）入学手続期限までに卒業証明書・成績証明書等を提出できない場合は、その旨を連絡することにより、期限の延長を認めています。詳細は「入学手続の手引」を参照してください。
（注 2）その他本学指定様式の書類の提出が必要になります。
（注 3）住民票は、手続期限から３か月以内に発行されたものを提出してください。日本国以外の国籍を有する場合、**在留資格、在留期限の記載を含むもの**を提出してください。

（３）保証人について

出願時には保証人は必要ありませんが、合格後、**入学手続の際には保証人が必要**です。
保証人は、以下の優先順位により届け出てください。
※在留資格が「留学」の方を保証人に選定することはできません。

① 日本に居住する父母のいずれか一名
② 父母以外の日本に居住し独立の生計を営む親族
③ 上記①②の要件に合った保証人が選定できない場合のみ、日本に居住し独立の生計を営む成年者で、学生の指導・支援を行うことのできる者

10. 問い合わせ先

問い合わせ内容	担当	連絡先	事務取扱時間
入学試験の公開・過去問題・出願・受験票・入学検定料返還に関すること	大学院事務室（情報コミュニケーション研究科）	03-3296-4285 jokomiken@mics.meiji.ac.jp	平日　9:00～11:30 12:30～17:00 土曜日 9:00～12:00
奨学金に関すること	学生支援事務室奨学金係	03-3296-4208 scampus@mics.meiji.ac.jp	平日　9:30～16:30 土曜日 9:30～12:00
入学検定料・学費に関すること	財務課学費係	03-3296-4096	平日　9:00～17:00 土曜日 9:00～12:30
留学生の在留資格・奨学金に関すること	国際教育事務室	03-3296-4141	平日　9:00～11:30 12:30～17:00 土曜日 9:00～12:30

11. 授業時間帯について

時　限	1時限		2時限		3時限		4時限		5時限		6時限	
時間帯	9:00～10:40		10:50～12:30		13:30～15:10		15:20～17:00		17:10～18:50		19:00～20:40	
モジュール※	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b	a	b

※ 1つの授業は100分で行いますが、a 、 b の2つの「モジュール」という50分ごとの単位に区分けします。
また、この他に、補助的な時間割として、モーニングモジュール（8:00～8:50）、ランチモジュール（12:35～13:25）、ナイトモジュール（20:50～21:40）があります。

12. 大学院奨学金制度について

◎給費奨学金

大学院研究奨励奨学金

明治大学大学院に優秀な成績で入学した者のうち、各研究科が独自に定めた選考基準により成績優秀者を選考し、標準修業年限内（博士前期・修士課程は２年間、後期課程は３年間）にわたり、授業料年額２分の１相当額を給付する奨学金制度です。選考は、研究科ごとに行うため、本人による出願制ではありません。奨学金の給付により、研究に専念する環境を整えることで、今後研究者としての道を目指す優秀な学生を育成することを目的としています。

当該制度には、博士後期課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金Ａ」と、博士前期・修士課程を対象とした「大学院研究奨励奨学金Ｂ」があり、継続して受給するためには、各年度において各研究科の定める継続条件を満たす必要があります。

ただし、明治大学私費外国人留学生奨学金（国際教育事務室所管）の採用者となった場合は、研究奨励奨学金の受給はできません。研究奨励奨学金の受給を希望する場合は、私費外国人留学生奨学金に応募しないでください。

また、大学院研究奨励奨学金採用者は、日本学生支援機構第一種奨学金及び第二種奨学金への出願も可能です。

なお、当該奨学金を受給中に、休学、退学（３月３１日付退学を含む)、除籍となった場合、学校処分を受けた場合は、給付金を返還していただきます。また、助手に採用される等の一定の条件に合致した場合には、奨学金の給付は行いません。

詳細は、大学院事務室にお問い合わせください。

特定研究者育成奨学金

明治大学では、特定の研究課題に専念する機会を付与し、もって学術研究の発展に資する優れた研究者を育成することを目的として、学費年額相当額の奨学金を給付します。奨学金は、各年度において一定の条件を満たすことにより、標準修業年限を上限とし、継続して給付されます。

給付対象となるのは本学大学院に在学し、独立行政法人日本学術振興会特別研究員（特別研究員ＤＣ１及び特別研究員ＤＣ２に限る）に採用される者となります。

なお、当該奨学金を受給中に、休学、退学（３月３１日付退学を含む)、除籍となった場合、学校処分を受けた場合は、給付金を返還していただきます。

詳細は、大学院事務室にお問い合わせください。

13. ビザ（査証）について

（１）受験ビザ取得について

「受験許可証」の発行を希望する者は、「入学試験志願書（外国籍用）」の「受験許可証欄」の「要」に○印を付けて、以下の２点を出願書類と一緒に送付してください。

・「入学試験志願票Ａ票」、「入学試験志願書」に貼付したものと同一の写真（タテ 4 ㎝×ヨコ 3 ㎝）１枚（写真裏面には、志望研究科名・氏名を記入してください。）

・英文表記による海外送付先住所を記したメモ（誤読等防止のためパソコン等で入力したもの。）

ただし、「出入国管理及び難民認定法」により、一般旅券所持者に対する相互査証免除国に制定されている等で、受験ビザの取得が不要な方に対しては、申し込みがあったとしても「受験許可証」の発行はいたしません。

【査証免除国（外務省 HP 参考）： https://www.mofa.go.jp/mofaj/toko/visa/tanki/novisa.html 】

※明治大学から交付された「受験許可証」により在外日本国公館（大使館・領事館）でビザ申請手続きを行った場合でも、必ず許可されるとは限りません。

※ビザの取得や入国に関する手続きは、受験生が個人の責任で行う必要があります。

（２）留学ビザ取得について

以下いずれの場合も、必要書類や手続きの詳細は、入学予定者に通知される国際教育事務室からの案内を確認してください。

① 日本における在留資格を有していない者（新規入国）

日本への入国には、「留学」ビザ（査証）が必要です。大学では、ビザ申請に必要な「在留資格認定証明書（COE)」の代理申請を行っています。必要書類等の詳細は、合格者へ案内します。

【ビザ取得までの流れ】

１．学生 ⇒ 大学：入学決定後、速やかに必要書類を提出してください。

２．大学 ⇒ 入管：東京出入国在留管理局へ COE を代理申請します。

３．入管 ⇒ 大学：審査後、COE が交付されます。

４．大学 ⇒ 学生：COE を送付します。受領後、学生本人が現地の日本大使館等へビザ申請を行ってください。

② 日本における在留資格を有している者

◆在留資格が「留学」の場合

在留期間満了日の 3 カ月前から、在留期間更新許可申請が可能です。

※所属機関（学校）が変わる場合は、変更後 14 日以内に出入国在留管理局へ「所属機関に関する届出」を提出する義務があります。

◆在留資格が「留学」以外の場合

「留学」への変更を希望する場合、入学手続完了後に研究科が発行する「入学許可書」を用いて在留資格変更許可申請を行ってください。

※「留学」以外の在留資格でも在籍は可能ですが、留学生対象の奨学金の多くは在留資格「留学」が条件となります。

※「短期滞在」から「留学」への変更は原則認められません。一度出国し、上記①の手順でビザを取得してください。

※ COE および在留資格の更新・変更の審査は出入国在留管理局が行います。審査の結果、不交付・不許可となった場合、本学は一切の責任を負いません。

14. 入学諸費用等について

入学諸費用及び入学後の学費等の詳細については、明治大学ホームページに掲載している 2027 年度入学者の学費等一覧をご参照ください。

https://www.meiji.ac.jp/suito/gakuhi.html